

知事と市町村長との意見交換（新島村）

令和元年 10 月 18 日（金）

16 時 55 分～17 時 15 分

○**行政部長** それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** わざわざお越しいただきました。台風 15 号に続いて台風 19 号、また今週末は雨という予報がございますが、そういう中でいろいろと被害があったとの報告を受けておりますけれども、お見舞い申し上げます。その上で本日お越しいただいておりますことは、ありがとうございます。それから、被害については、こちらで情報を得た部分で、15 号は風台風、19 号は雨台風で村道が崩落しているという写真も拝見しております。できる限り支援してまいりたいと思っておりますことを、冒頭に申し上げたいと思います。

それから、長期戦略ということで、これからの新島が、今後とも元気で持続可能でそしてまたいろんな魅力を発信していただけるように、長期戦略の考え方についてお話を伺いたいと存じますので、よろしくをお願いいたします

○**行政部長** では、青沼村長、よろしく申し上げます。

○**新島村長** 先月は、島しょ部における台風 15 号の被災には、小池知事、本当にありがとうございました。東京都の関係職員の皆様も、島に被害状況の把握のために来島をいただきまして、本当に感謝申し上げます。村民はおかげさまで勇気を与えられたと大変喜んでおります。本当にありがとうございました。

そこで今回は、東京都の戦略に関係した新島村の重要施策について説明いたします。まず、移動通信システムの向上についてですが、離島である新島村は、人口の減少が都市部より早く表れております。平成 2 年には 3,641 人人口がありましたが、平成 31 年には 2,722 人と、平成 2 年の約 75%まで減少しております。高齢化率が 39.6%という現状を考えますと、20 年後には人口が 2 千人を割るという状況が見えてまいっております。移住定住の促進・出生率の向上等、対策には、人口減少を抑制するための施策も力を入れる必要がありますが、人口減少に対応した社会を構築することも重要と考えております。人口減少に対応した社会を構築するためには、長期戦略のたたき台である、未来の東京への論点の中で、東京都が目指すソサエティ 5.0 で示されているとおり、仕事等のデジタル化を進め、シェアエコノミーを取り入れるなど、減少する住民が「繋がり・共有し・助け合い」ながら、効率よく仕事や生活ができるようにするために、情報通信環境の整備が必要だと考えております。新島村では、平成 30 年度から光回線島内網が整備され、ようやく復旧されたと、これも知事、皆さんのおかげだと思っております。

ほかに、人口減少に対応した社会を構築するためには、携帯通信ツール等を活用することが必要であるので、移動通信システムの向上が必要であると考えております。新たな通信システムとしては、5G の時代が間もなく到来いたします。これらの通信環境が整備され

れば、離島の課題である医療・教育分野についても、大幅な改善が見込まれる予定であります。移动通信システムは、民間主導で展開されており、難しい部分もありますが、東京都へは、移动通信システムの環境向上への後押しと、村で負担できない場合の財政支援及び利用についての助言等、御協力を賜りたいとお願い申し上げます。

続きまして、村土の保全について御説明いたします。東京都の未来の東京への論点の中で、課題として、台風・豪雨による水害への備えを固めるとしております。これは、都市部の水害の対策かと思いますが、離島についても重要な課題でございます。自然災害への対策は難しいものですが、先の台風15号では、山の方でもかなりの倒木が発生しており、地盤のゆるみが懸念されます。また、台風19号により、海岸浸食によりまして、東部の羽伏浦海岸、西部の和田浜海岸の一部が崩れるということがありました。これまで東京都には、村土保全のための治山事業や海岸保全事業等に、多大なる御支援をいただいております。今後も継続して、新島村の村土保全のための治山対策や海岸浸食対策への事業支援・財政支援をしていただくよう、引き続きお願い申し上げます。

以上、よろしくお願ひいたします。

○知事 現実、前の台風の時に伺わせていただいて、特に風台風で停電が生じて、それから、屋根の瓦も吹っ飛んでという状況を拝見いたしました。そういう中で、やはり今この通信、もちろん停電っていうのを早く直すためにも、前からおっしゃってますように、また無電柱化ということについてはよく理解をされておりますので、停電が生じないような対策は講じていく必要がございます。

そこでまた情報が途絶えると、これはもう不安以外の何ものでもないかというふうに思います。今回の台風では、NTT東日本の方の光回線のインターネットが一時利用できない状況になったと伺っておりまして、インターネット環境というのは、都民の生活に欠かすことができない、大変重要な社会基盤でありますし、そこが途切れるというのはもう、あるものがないっていうのが一番不安でございます。そういうことから、インターネット環境の根幹となるために、島しょ部五つの村と六つの島の超高速ブロードバンドの事業を着実に進めているところでございます。それに加えて、8月末ですが、御承知のように、東京データハイウェイ基本戦略を発表させていただきました。おっしゃるように、離島の問題の距離感を一番短くするのが情報通信でございますので、これによって特に5Gという次世代の情報のインフラを整えることによって、新島にいて様々な仕事をしながら子育てをすると、島の自然を満喫できるという新しい方を島に招き入れるということができればと、このように考えております。このTOKYO Data Highwayの基本戦略にのっとり、この電波の道をつくることで、島をガッと近づけていく。そしてインターネットを介して、どこにいても誰一人取り残されない社会、これを、SDGsとよく呼んでおりますけれども、社会をしっかりつくっていきたいと思っております。

2点目にお話ございました、今回も村道がガガッとえぐれてなくなってしまう写真も拝見いたしました。一日も早い復旧・復興を図れますように、村長の話も含めまして、都としての財政面からの支援を進めてまいります。それから、治山事業でございますけれども、

島しょ地域の森林は、防風だったり防潮だったり、それから、土砂災害の防止など、重要な役割を果たしているわけでございます。ということで、山地の災害に対しては、治山事業の実施で森林の保全と復旧を図っておりますので、新島の実情を踏まえながら、引き続き対策の推進をともに進めていきたいと思っています。今回村道がえぐれてるところは、今度は海岸保全事業になるわけですが、新島村において、毎年のようにこの台風の波浪で海岸が侵食されるということで、羽伏浦の海岸の一部の崩落についても、現地調査を早急を実施をしております。これからも災害にも強い島ということで、その実現に向けて、浸食対策や予防保全計画に基づいて、具体的には和田浜海岸、それから、新島港海岸などでの対策、護岸補修を着実に進めてまいります。

村の皆さんお元気ですか。おばあちゃまたち。よろしくお伝えくださいね。

○新島村長 知事がいらっしゃった際、村民は出迎えがなかなかできなかったんですが、あとで知事が来たということ、もう島中が知ってまして、なぜ来てくれんだろ、すごいなということで、知事の動きの速さ、大変感服しました。皆さん本当に喜んでましたので、災害に向けてこれからも頑張っておりますので、是非今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○行政部長 それでは意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。